

令和7年（2025年）2月21日

報道機関各位

令和7年道央圏農業新技術発表会の開催について

◆ 概要

北海道立総合研究機構が開発した研究成果等の中から、道央圏（空知、石狩、後志、胆振、日高）に適應する新品種や栽培技術を広く普及するため、農業者及び農業関係団体を対象とした発表会を毎年開催しており、本年度は次のとおり開催する予定です。

- 日時
令和7年2月27日（木）13：30～16：15
- 場所
くりやまカルチャープラザ「Eki」
（栗山町中央2丁目1番地）
- 主催・後援等
 - 主催 地方独立行政法人北海道理総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場
 - 後援 栗山町、そらち南農業協同組合、北海道空知総合振興局
 - 協力 空知総合振興局空知農業改良普及センター
- 発表内容
 - ・口頭発表：研究成果6件、現地普及活動事例1件
 - ・ポスター発表：研究成果22件、現地普及活動事例1件※「口頭発表」については、別紙のチラシをご参照ください。
- その他
 - ・入場無料。
 - ・事前申込みは必要ありません。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）
農業研究本部 企画調整部 企画課（担当者：木村、深瀬）
電話 0123-89-2586 ※平日8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。



令和7年 道央圏農業新技術発表会

申込不要
無料

本年度、農業試験場が開発した研究成果等の中から、道央圏（空知、石狩、後志、胆振、日高）に適応する新品種や新技術をご紹介します、ご理解を深めていただくため次のとおり開催します。

日時：令和7年2月27日（木）13：30～16：15

場所：くりやまカルチャープラザ「Eki」（栗山町中央2丁目1番地）

新品種・新技術発表 道総研 農業研究本部 中央農業試験場

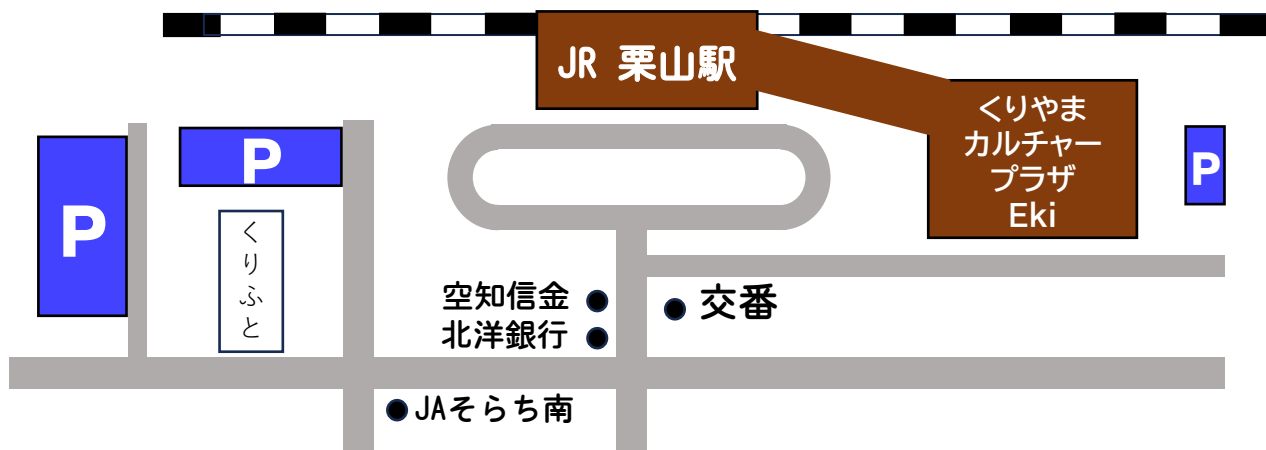
- ◎ コムギ縮萎縮病に強い 秋まき小麦（日本めん用）新品種「きたほなみR」
- ◎ Mスターコンテナを用いた醸造用ぶどう育苗法
- ◎ 輪作に加えるとメリットたくさん！ 子実用とうもろこし有機栽培のコツ
- ◎ 衛星データと地理情報で農地の排水性を診断
- ◎ AIで ばれいしょのモザイク病を診断
- ◎ 露地野菜の収穫が楽々！ コンベアキャリアによる収穫体系

普及活動事例発表 空知農業改良普及センター空知南東部支所

- ◎ 地域で取り組む鳥獣害対策 ～ 栗山町日出地区の取り組み ～

ポスター発表

最近の主な研究成果をポスター掲示（質問・相談できます）



主催 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場
 後援 栗山町、そらち南農業協同組合、北海道空知総合振興局
 協力 北海道空知総合振興局 空知農業改良普及センター

お問い合わせ先 農業研究本部 企画調整部 企画課（担当：木村、深瀬）

TEL: 0123-89-2586（直通） E-mail: central-agri@hro.or.jp

